

「ディスレクシア」ってなんだろう？

問題 この文章、なんて書いてあるか、わかりますか？

完璧な文章などといったものは存在しない。
完璧な絶望が存在しないようにね。
働かざる者にはね。作家は
僕に向かえそう言った。

上記は、ディスレクシア（読み書き困難）の人の見え方の一例です。

「ディスレクシア」とは文字と音を操作する機能が弱く、そのうえ見え方や聞こえ方が人によって違うため、知的に問題ないものの読み書きが困難である症状をいいます。見え方は様々ですが、「文字が躍る」「動く」「かすれる」という表現をされる人もいます。日本でも人口の5%~8%、クラスに1~2人はいると推定されています。まず、ディスレクシアを知ること、読むことや書くことに困難さがある子どもたちや保護者への支援を一緒に考えていきましょう。



ひまわり発達相談センター



講師：**藤堂 栄子氏** NPO法人エッジ(EDGE)会長

日時：平成**28**年**8**月**17**日（水）**13:30~16:00**（開場 **13:00**）

場所：**習志野市民会館**（入場無料 申込み不要）

◆手話通訳あり

◆託児あり(事前申し込み必要)

申込み期間：7/15 ~7/29（9時~17時まで）先着順・定員になり次第締め切り

講座のお問い合わせ及び託児の申し込みは、下記までお願いいたします。

学校で「読み書きが苦手だな」と感じている子どもの中には
ディスレクシアのような背景が隠れているかもしれません。
しかし、情報を耳から入れる、教材を工夫する、
学習スキルを身に着ける等で困難さを軽減することができます。
その支援について一緒に考えて行きましょう。

答え

※表面の文章の通常の見え方

完璧な文章などといったものは存在しない。
完璧な絶望が存在しないようにね。
僕が大学生のころ知り合ったある作家は
僕に向かってそう言った。

村上春樹「1973年のピンボール」より

フォントやサイズ、行間を広げる等
の他に、色のシートをつけることで、
文字が落ち着くことがあります。

◆講師紹介◆

とうとう えいこ
藤堂 栄子 氏

- ・NPO法人エッジ(EDGE) 会長
- ・港区個別支援室 室長
- ・一般社団法人JDDNET 副理事長
- ・(有)ToDo Planning 代表
- ・星槎大学特任教授 教育学修士

昭和 28 年(1953)横浜生まれ、その後幼児期はフランスで5年間過ごす

◆職歴◆

- | | |
|------------------|---|
| 昭和 51 年(1976)～ | 欧州共同体委員会委員会駐日代表部広報部勤務 |
| 昭和 57 年(1982)～ | フリーランス通訳者 |
| 平成 7 年(1995)～現在 | (有)ToDo Planning 代表 -翻訳通訳、国際企画等 |
| 平成 13 年(2001)～現在 | NPO 法人エッジ会長 -LD(学習障害)の中核症状であるディスレクシアの啓発、サポート、国内外のネットワーク |

◆著書論文等◆

- アスペルデルドの会、日本LD学会、児童心理、明治図書など専門書に多数
明石書店「ディスレクシアってなあに？」翻訳、一部著作
ぶどう社「ディスレクシアでも大丈夫」著
ぶどう社「学習支援員のいる教室ー通常の学級でナチュラルサポートを」編著
東京書籍「私のディスレクシア」監訳

◆会場へのご案内◆ 習志野市民会館

なるべく公共交通機関をご利用くださいませ。(京成大久保駅下車徒歩 1 分)

